



KY20426(00/05)



フラティア
Flatia <KWF-A>

取扱説明書



このたびはカワムラサイクルの歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために必要な注意事項や正しい使用方法が
記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードしていただけます。

<https://www.kawamura-cycle.co.jp>

※ご使用になる前に必ず本書をお読みください。また、ご使用の際には必ず携帯していただき必要な
ときにいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書は本書裏表紙に記載されていますので、お買い上げいただいた販売店より記入をお受けください。

カワムラサイクル

1. 重要なお知らせ	3
1.1 製品について	3
1.2 飛行機に搭乗される場合	5
1.3 車などに載せる場合	5
1.4 製品を譲渡・貸与する場合	5
1.5 修理のご依頼	5
1.6 廃棄する場合	5
2. 各部の名称とはたらき	6
3. 安全に関するご注意	7
3.1 安全について	7
3.2 警告表示について	7
3.3 一般的な注意	8
4. 各部を調整する	12
4.1 歩行車を広げる	12
4.2 歩行車を折りたたむ	13
4.3 手押しハンドルの高さ調整	13
4.4 ブレーキワイヤー調整	15
4.5 ステッキボウルの取り付け方向変更	15
4.6 バッテリーを充電する	16
4.7 バッテリーの取り付け方法	20
4.8 バッテリーの取り外し方法	20
5. 歩行車の使い方	21
5.1 ブレーキを使う	21
5.2 電源の入れ方	22
5.3 電源の切り方	22
5.4 スピードの変更方法	23
5.5 歩行の方法	24
5.6 セパレートブレーキについて	25
5.7 バッテリー残量の確認方法	26
5.8 着座の方法	27
5.9 買い物カゴの乗せ方	27

6. 点検・整備する	28
6.1 日常点検リスト	28
6.2 定期点検リスト	29
7. 清掃する	30
8. 仕様	32
8.1 各部の寸法	32
8.2 各部の仕様	33
8.3 主な材料・材質一覧表	34
9. 保証について	35
9.1 保証書	35
9.2 保証期間終了後	35
9.3 製品記録	35
10. 保管する	36
11. 故障かな？と思ったら	36
12. 連絡先	38
保証規定	39

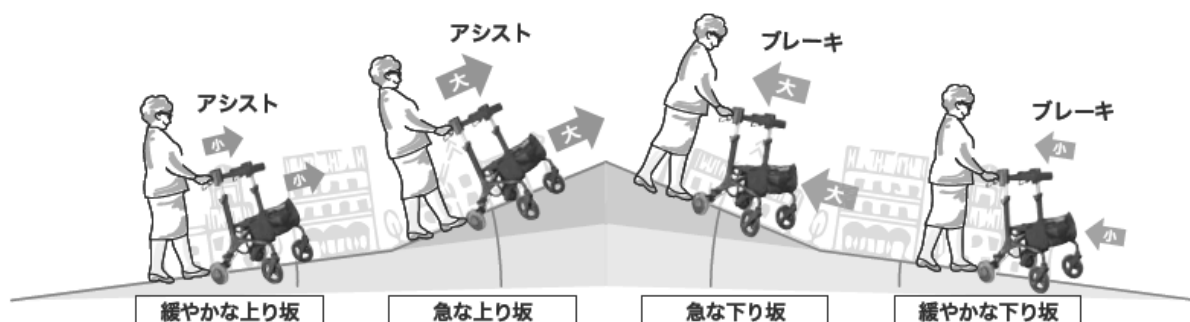
1. 重要なお知らせ

1.1 製品について

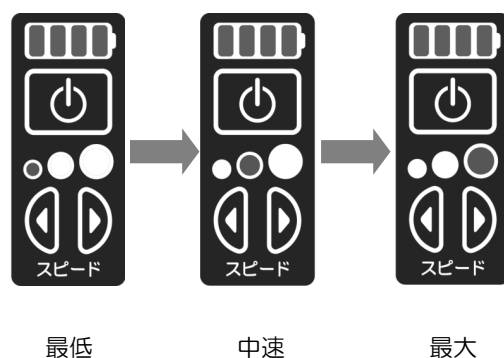
■ 製品の使用目的及び特徴

この製品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行車です。ご使用に適しているかどうかご不明な場合は、福祉用具専門相談員やセラピストにご相談ください。

- 電動アシストシステムによりアシスト力が得られます。
 - ・ 上り坂ではアシスト力が作動し、楽に歩行出来ます。
 - ・ 下り坂では自動ブレーキが働き、ゆっくり安心して歩行出来ます。



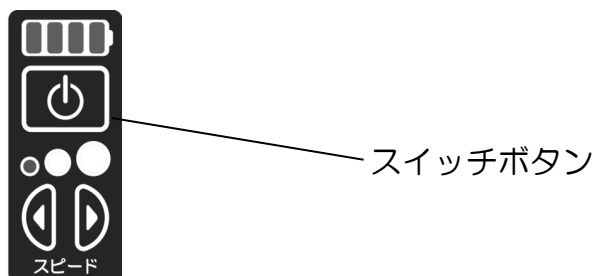
- 最大スピードの変更が可能です。
 - ・ 歩行状況に合わせて、最大スピードを3段階で調整可能です。利用者に合った最大速度を設定することで歩行速度が維持され、転倒の防止につながります。



- セパレートブレーキを備えています。
 - ・ 使用者と歩行車の距離を検知し、手や身体が離れた場合、車体に自動でブレーキがかかり、つまずき等による転倒を防ぎます。※使用条件や環境条件により機能が正常に働かない場合がありますので、システムに頼った使用は避け下さい。



- スイッチボタンでアシスト機能のオン/オフが出来ます。
- ・スイッチを切っているときは通常の歩行車と同様の使用ができ、利用者の状態や体力に応じて使用方法を選択できます。
- ・使用中にバッテリーが切れたときでも通常の歩行車として使用できます。
※電源オフのとき、後輪にモーターの抵抗がありますが、通常の歩行車と同様に使用可能です。ただし 4.5km/h でブレーキが掛かります。



- バッグに荷物を積載した状態でも、アシスト機能でラクに歩行出来ます。



- 手押しハンドル高さを調整出来ます。
- 疲れたときには、シートに座って休むことが出来ます。

■同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

部品名	個数	備考
取扱説明書	1 冊	
操作確認表	1 部	
返信用封筒	1 枚	
3mm 六角レンチ	1 個	
充電器	1 個	
バッテリー	1 個	

1.2 飛行機に搭乗される場合

本機はリチウムイオンバッテリーを搭載しています。
飛行機に搭乗される際は、バッテリーを外して本体のみを貨物として預け、バッテリーは手荷物としてご自身でお持ちください。

ただし、機内への持ち込みの最終判断は航空会社になりますので、事前に利用予定航空会社又は旅行代理店にご相談ください。



1.3 車などに載せる場合

歩行車を車などに載せる際は、なるべく車体を立てた状態で載せるようにしてください。車体を横倒しの状態で載せた場合、車軸やフレームに破損が生じるおそれがあります。

1.4 製品を譲渡・貸与する場合

この製品を他の方に譲渡または貸与される際は、必ず本書もあわせてお渡ししてください。

1.5 修理のご依頼

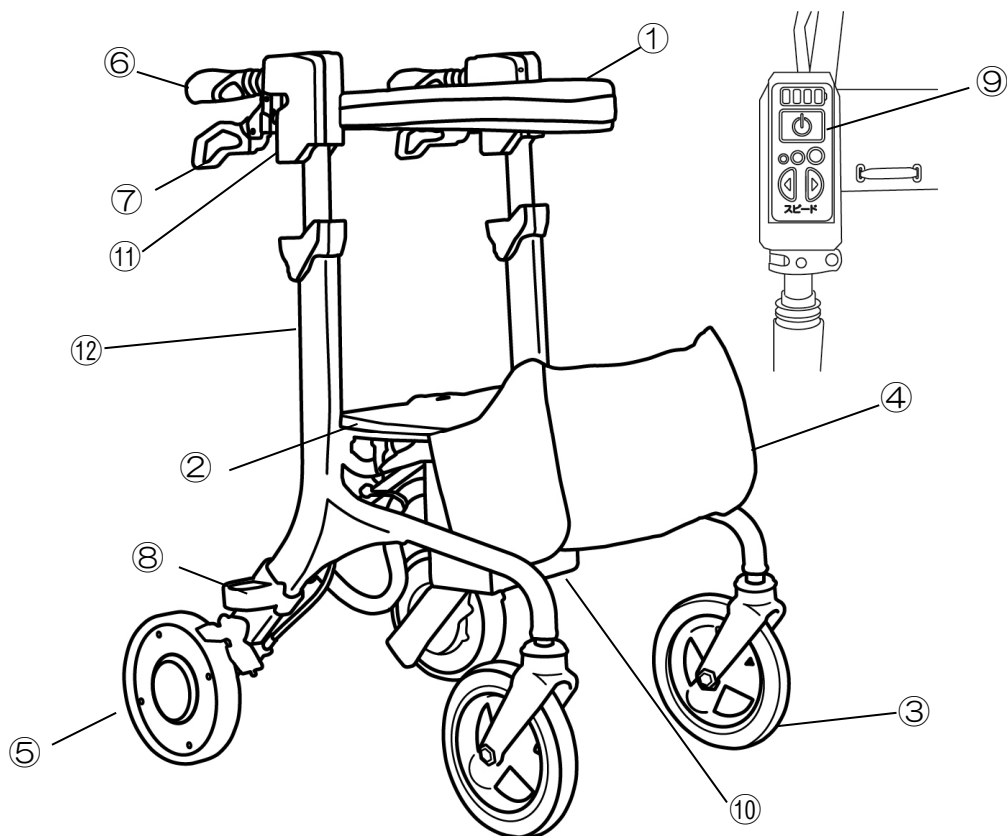
異常がある場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店に修理をご依頼ください。

1.6 廃棄する場合

製品を廃棄する場合は、地球の環境保護のため、そのまま放置しないで、各自治体の取決めにしてください。

バッテリーは廃棄せずリサイクルにご協力ください。詳しくは『4.6 バッテリーを充電してください』をご覧ください。

2.各部の名称とはたらき



No.	名称	説明
①	背ベルト	シートに腰掛ける際の背もたれです。
②	シート	腰掛ける箇所です。
③	前輪	自在に方向転換できるフレーム前部に取り付けられた車輪です。
④	バッグ	荷物などを入れられます。
⑤	後輪	アシストモーター内蔵ホイールの主輪です。
⑥	手押しハンドルグリップ	歩行の際に握っていただくグリップです。
⑦	ブレーキレバー	駐車や減速する際に操作するレバーです。
⑧	ステッキボウル	杖先を収める場所です。
⑨	操作パネル	電源の入/切、スピードの切り替えが出来ます。
⑩	制御ボックス	アシスト機能を制御します。またバッテリーをセットします。
⑪	セパレートブレーキセンサ	使用者の位置を検知するためのセンサです。
⑫	主フレーム	各部品が取り付けられたフレームです。

3.安全に関するご注意

3.1 安全について

製品をご利用になる前に、この取扱説明書に記載されているすべての警告文を注意深くお読みください。

万一、警告文の意味が十分理解できないときは、当社のサービスセンターまでご相談ください。

警告文の意味を十分理解するまで絶対に製品を使用しないでください。

3.2 警告表示について

取扱説明書の警告文では、製品使用中に想定される危険な状態を以下のシンボルマークで表示しています。

警告文の内容を無視すると、その警告内容に使われたシンボルマークに応じた事故につながるおそれがあります。

■ 表示の説明

シンボルマーク	警告の意味
 危険	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷を負うことがあり、かつその切迫の度合いが高い危害の程度。
 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるかまたは、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

■ 図記号の意味（JIS Z9104 より）

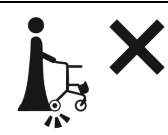
シンボルマーク	警告の意味
 禁 止	してはいけないことを示しています。
 強 制	必ずしなければならないことを示しています。

3.3 一般的な注意

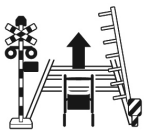
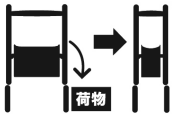
! 警告		
禁止	エスカレーターでは使用しないでください。 介助者がいる場合でも、転倒などにより重大な事故のおそれがあります。	
	この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。 予期しない事故につながるおそれがあります。	
	保管は屋内で行ってください。 屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。	
	歩行車に座った状態や歩行中に、強い前傾姿勢をとらないでください。 歩行車ごと転倒し危険です。	
	歩行車を火気に近づけないでください。 シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。熱湯消毒についても同様です。	
	勝手に改造・分解しないでください。 強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。	
	この歩行車は、一人用です。複数の人数で使用しないでください。 二人以上で使用すると破損・事故の原因となります。	
	ブレーキレバーは作動方向以外に力を加えないでください。 また、必要以上に力を加えないでください。 ブレーキが変形・破損するおそれがあります。	
	歩行車を投げたり落したり、衝撃を加えないでください。 車体や部品が破損するおそれがあります。また、周囲の方に予期せぬ危害をおよぼすおそれがあります。	
	傾斜地や不安定な場所での歩行は慣れた状態になってから使用してください。 歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。	
	段差の前では勢いをつけて乗り越えず、一旦停止して注意しながら前輪を上げて乗り越えてください。 転倒または破損によりケガをするおそれがあります。	

3.安全に関するご注意

禁止	急勾配（傾斜7度以上）では使用しないでください。 登坂性能を超える傾斜でのご使用はアシスト機能に異常が発生する可能性があり、急停止などで転倒または破損によりケガをするおそれがあります。	
	大きな段差のある場所や階段では使用しないでください。 転倒または破損によりケガをするおそれがあります。	
	坂道や滑りやすい床面では駐車ならびに座って休憩しないでください。 転倒のおそれがあります。	
	雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等、濡れた路面でのご使用はお避けください。 車輪のサビ等により故障の原因になります。	
警告		
禁止	夜間のご使用はおやめください。 車から発見されにくく危険です。	
	可動部に指や手を挟まないようにしてください。 手指のケガの原因となります。	
	小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。 事故につながるおそれがあります。	
	この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。 転倒または破損によりケガをするおそれがあります。	
	歩行する際には片手で操作しないでください。 片手操作はバランスを崩す原因にもなります。	
	シートには立たないでください。 転倒のおそれがあります。	
	バッグには、5kg以上の荷物は入れないでください。 バランスを崩し転倒につながるおそれがあります。	
	ハンドルに荷物をかけたりしないでください。 バランスを崩し転倒につながるおそれがあります。	

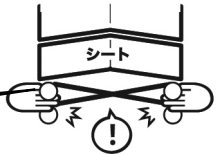
 禁 止	回転している前輪・後輪に指等を差し込まないでください。 手指のケガの原因となります。 
	上体を支える力が無い方は使用しないでください。 転倒しケガをするおそれがあります。 
	動作異常、異音がある場合は、使用しないでください。 車体や部品が破損するおそれがあります。また、周囲の方に予期せぬ危害をおよぼすおそれがあります。 
	歩行車に水をかけないでください。 故障の原因になります。 
	車のトランクや高温になる場所には保管しないで下さい。 作動不良や機器の故障により事故につながるおそれがあります。 
	長いコートやスカートなどを身に着けての使用はおやめ下さい。 後輪に巻き込み転倒のおそれがあります。 
	紐のほどけた靴やハイヒールを履いた状態での使用はおやめ下さい。 転倒につながるおそれがあり危険です。 
 強 制	歩道を通行してください。 交通ルールを守りご使用ください。歩道や歩行者専用道路を通行してください。 
	次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。 ・階段 ・交通量の多い道路 ・濡れてるなど滑りやすい路面 ・散らかった室内 ・視認性の悪い時間帯や場所（夜、夕暮れ等） ・急な坂道 ・ぬかるみ ・踏み切り ・人ごみ ・防止柵のない側溝や路肩付近など ・凹凸の激しい道 ・雨や雪、風の強い日 ・凍結路 ・深い砂利道や砂道 ・気温0℃以下の場所 ・気温40℃以上の場所 ・その他危険が予想される場所 

3.安全に関するご注意

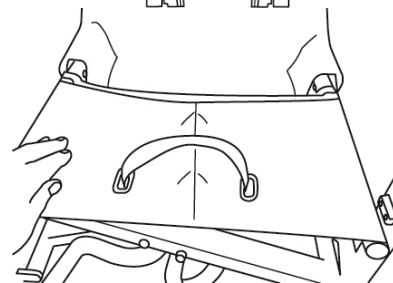
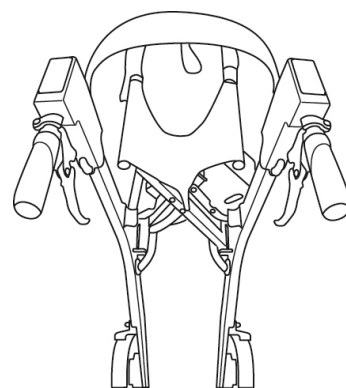
 強 制	ご使用前には各部を点検し、部品等の破損や損傷がある場合には、すぐに販売店にご相談ください。 長時間のご使用または長期間の放置等による劣化から、歩行車の強度や機能が低下し思わぬ事故の原因となるおそれがあります。	確認 
	踏み切りを横断の際は、前輪をレールに対して直角にして通行してください。 斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。	
⚠ 注意		
 禁 止	下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。 ・車道に近いところ ・人通りのあるところ ・路面に段差や凸凹のあるところ ・湿気の多いところ ・雨風の当たるところ ・ほこりの多い場所 ・坂道 ・非常口、消火器、消火栓の前 ・直射日光の当たる場所 ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所 ・エアコンの前など気温の変化の激しい場所 ・子供がいたずらをするおそれのある場所 事故やサビ・破損の原因になります。	
	ブレーキは必ず手で操作してください。 車体や部品が破損するおそれがあります。	
 強 制	最大体重 100kg を守ってご使用ください。 「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。	 荷物+人 = 最大体重 100kg
	折りたたむ際は、荷物を下ろしてから折りたたんでください。 荷物がはさまりフレームが曲がったり、転倒のおそれがあります。	
	車体を持ち上げる際は、必ず主フレームを持って持ち上げてください。 背ベルトや手押しハンドルグリップを持って持ち上げた場合、部品が破損するおそれがあります。	

4.各部を調整する

4.1 歩行車を広げる

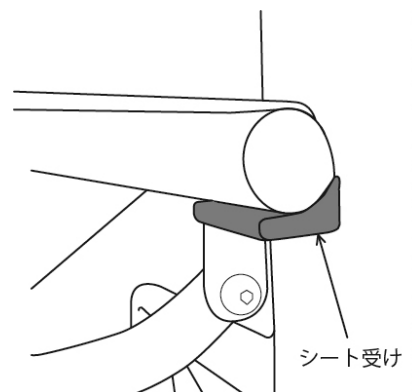
⚠ 警告		
❗ 強制	歩行車はしっかりと広がった状態でお使いください。 歩行中、不意に歩行車が折りたたまれる事により転倒につながるおそれがあります。また、セパレートブレーキが正常に機能しない場合があります。	
⚠ 注意		
🚫 禁止	シートパイプの横や下に手や指を置かないでください。 挟まってケガをするおそれがあります。	

1. 水平な場所で駐車用ブレーキをかけます。
(5.1 ブレーキを使う参照)
2. 歩行車の前方または後方に立ち、左右の押手を持って両側に軽く広げます。



3. 片方のフレームを持ち上げて車輪を少し地面から浮かせ、カチッと音がするまでシート端を上から手で押し下げます。

4. シートパイプがシート受けに乗っていることを確認してください。

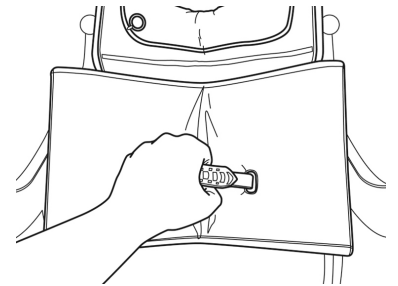


4.各部を調整する

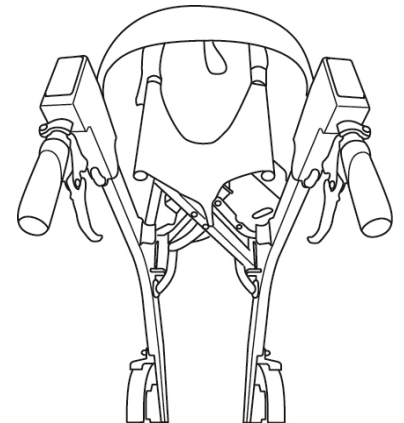
4.2 歩行車を折りたたむ

1. 電源が切れていることを確認してください。
2. 駐車用ブレーキをかけます。（5.1 ブレーキを使う参照）

3. 折りたたみベルトを引っ張り上げます。

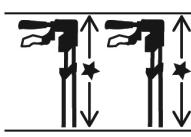


4. 歩行車の前方または後方に立ち、左右のフレームを中央に押し縮めます。



4.3 手押しハンドルの高さ調節

警告

 禁止	押手高さ調節ボタンのロックが戻って押手が動かない事を確認して使用してください。 歩行中に押手高さが変わり、バランスを崩し転倒につながるおそれがあります。	
	手押しハンドル高さは身長に合わせた状態で使用してください。 押手高さが低いまま使用を続けると腰痛・円背を招くおそれがあります。	
	左右のハンドル高さを合わせた状態で使用してください。 バランスを崩し転倒するおそれがあります。	

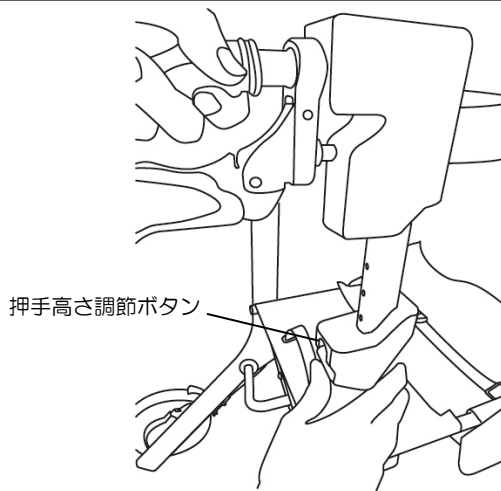
注 記

歩行車を広げた状態にし、平坦な場所で行ってください。

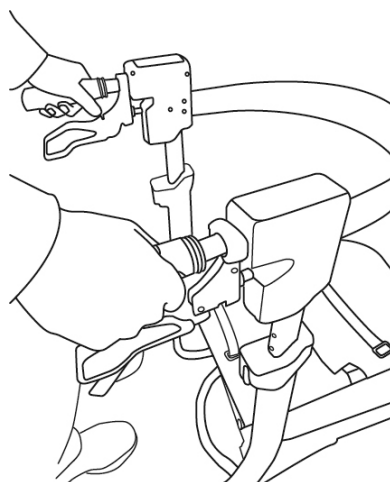
1. 押手高さ調節ボタンを押しながら押手を上下にずらして高さを決めます。

注 記

手押しハンドル高さは、歩行車の後ろに立ち、グリップを軽く握ったときに肘が少し曲がるくらいの位置を目安にします。



2. 押手が上下に動かないことを確認します。



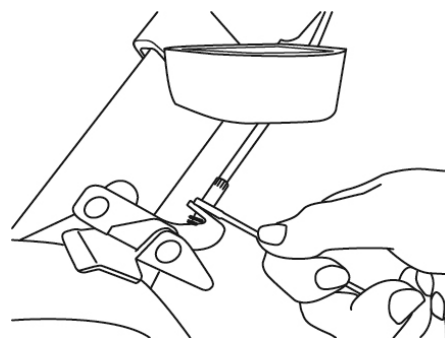
3. ブレーキの利きを確認し、制動力が弱い場合はブレーキワイヤーの調整を行ってください。
(4.4 ブレーキワイヤー調整参照)

歩行車を広げる	歩行車を折りたたむ	手押しハンドルの高さ調整	ブレーキワイヤー調整	ステッキボウルの取り付け方向変更	バッテリーを充電する	バッテリーの取り付け方法	バッテリーの取り外し方法
---------	-----------	--------------	------------	------------------	------------	--------------	--------------

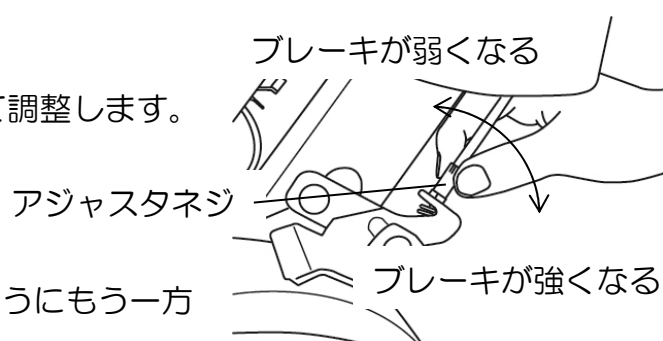
4.各部を調整する

4.4 ブレーキワイヤー調整

1. アジャスタナットを 8mm のスパナで
緩めます。(スパナは付属していません)



2. アジャスタネジのつまみを手で回して調整します。

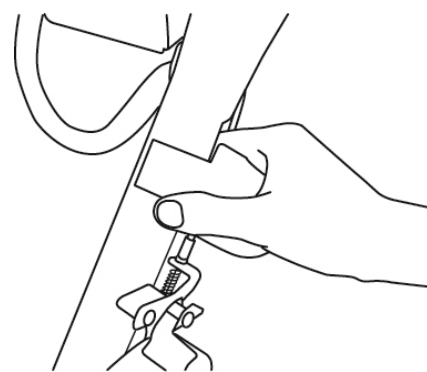


3. 左右のブレーキの利きが同じになるようにもう一方
も同じ作業を行い調節して下さい。

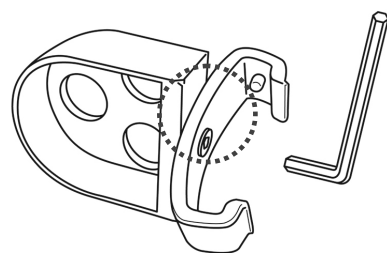
4.5 ステッキボウルの取り付け方向変更

出荷時は右側に取り付けられています。

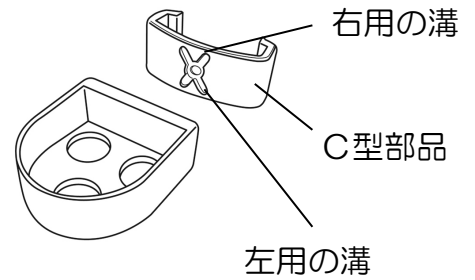
1. フレームからステッキボウルをゆっくりとひっぱり
取り外します。



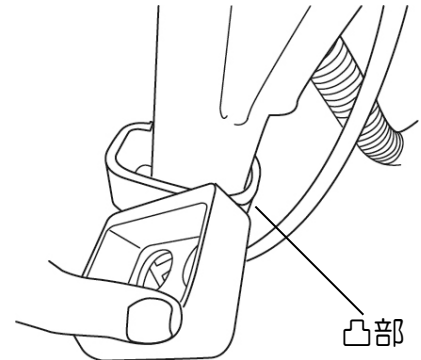
2. ステッキボウルのネジを付属の工具（3mm六角レンチ）
で緩めます。



3. ステッキボウルをC型部品の左用（もしくは右用）の溝にはめ、付属の工具（3mm六角レンチ）でネジをしっかり締めます。



4. 取り付けたい側のフレームの穴にC型部品の凸部を合わせてフレームにはめる様になに固定します。



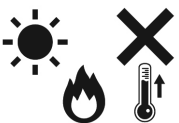
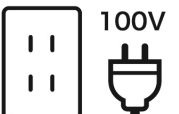
4.6 バッテリーを充電する

お買い上げ時にはバッテリーが十分に充電されていないので、ご使用前には必ず、満充電にしてください。また、長時間使わないときは、本体からバッテリーをはずし、必ずバッテリーを満充電にしてから保管してください。

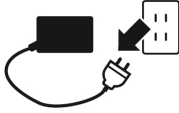
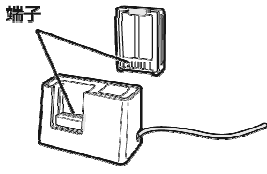
⚠ 危険

禁止	バッテリー及び充電器は本機以外の機器では使用しないでください。また、バッテリー及び充電器を分解したり、改造したり、単独で充電しないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	
	バッテリー及び充電器の端子に針金やピンなどの金属類を接触させないでください。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	
	針を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなど、強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	

4.各部を調整する

	落下などにより変形したり、傷のついたバッテリーは、使用しないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	
	火中に投入したり、ストーブのそば、直射日光のあたる場所、炎天下の車内など高温の場所に置かないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	
	水につけたり、濡らしたりしないでください。 火災・感電・けがの原因となります。	
	充電器及びバッテリーは当社製のバッテリー以外のものを使用しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火・液漏れの原因になります。	
	交流 100V 以外の電圧で使用しないでください。 火災・感電のおそれがあります。	
	タコ足配線をしないでください。 火災・感電のおそれがあります。	
 強 制	バッテリー内部の液体が漏れて目に入ったとき、こすらずに、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。 また、バッテリーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。 目に障害を与える原因になります。	
	 警告	
 禁 止	バッテリーの異臭・発熱・液漏れ・変色・変形・その他、今までと異なる事に気づいた時は使用しないでください。 発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。	
	濡れた手でバッテリー及び充電器を触らないでください。 発熱・発火・感電の原因になります。	
	ゆるんだコンセントや、傷んだ電源プラグ、電源コードは使わないでください。 感電・ショート・発火・ケガの原因になります。	

⚠ 注意

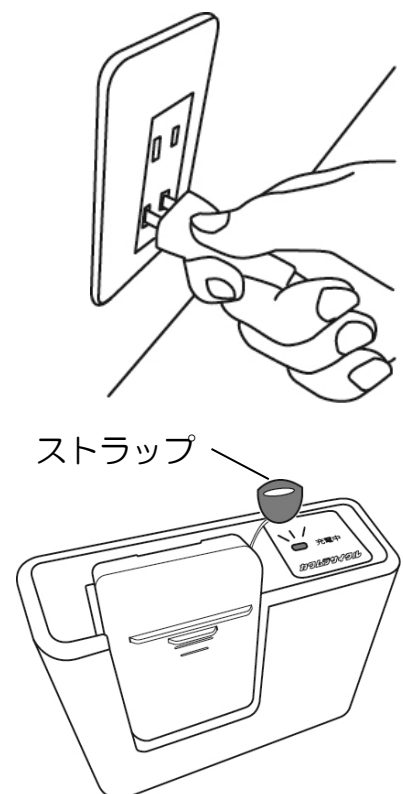
 強 制	湿気やほこりが少ない場所で使用・保管してください。 電源プラグにほこりが付着した際は除去してからコンセントに差ししてください。 発熱・発火・感電の原因になります。 
	長時間使わない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。 
	電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグを手で持って抜いてください。 感電やショート、発火の原因になります。 
 禁 止	充電中や充電完了直後は充電器やバッテリーの端子が熱くなりますので、触れないでください。 やけどの原因となります。 

1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込みます。

📌 注 記

電源プラグは根元まで確実に差し込みましょう。

2. バッテリーを充電器に差し込み、ランプ（赤）が点灯したことを確認してください。
ストラップが上になる方向が正しい取付け方向です。



📌 注 記

- 充電中、点滅（チカチカを約 1 秒間隔で繰り返す）した場合は、しっかり差し込めていません。奥までしっかり差しなおしてください。
- 充電中に充電器やバッテリーが熱くなりますが、異常ではありません。
- バッテリーは繰り返し使用することで運転時間が徐々に短くなります。

4.各部を調整する

充電中ランプ（赤）の光りかた	充電状態	充電開始からの目安時間
点灯	充電中	-
消灯	充電完了（満充電）	約 80 分※ (バッテリー残量によって変わります)

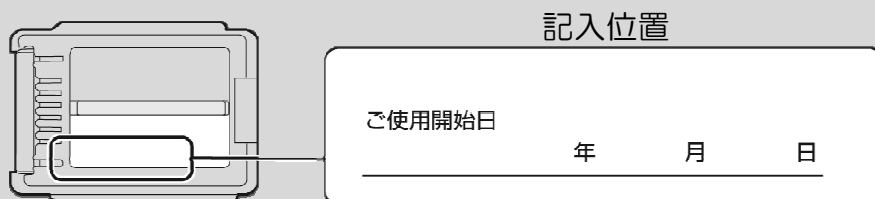
※長時間使用していない時や、室温 5℃～35℃の環境下以外での充電の際は満充電までの時間が長くなることがあります。



お知らせ

使用開始日

バッテリーの裏面に使用開始日をご記入ください。修理時などに参考にさせていただきます。



バッテリーの劣化

バッテリーは消耗品です。繰り返し使用することで劣化し、運動時間が徐々に短くなります。バッテリーの劣化はご使用状況や動作環境により異なります。

バッテリーのリサイクルにご協力ください。

バッテリー（リチウムイオン電池）は、リサイクル可能な貴重な資源です。不要になったバッテリーは、廃棄せずに充電式電池のリサイクル協力店へお持ちこみください。

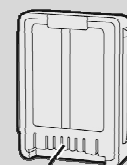
お近くのリサイクル協力店は以下のページから検索することが出来ます。端子

一般社団法人 JBRC ホームページ <http://www.jbrc.com>

また、使用済みバッテリーは分解せず、端子部を市販のビニールテープなどで絶縁してください。

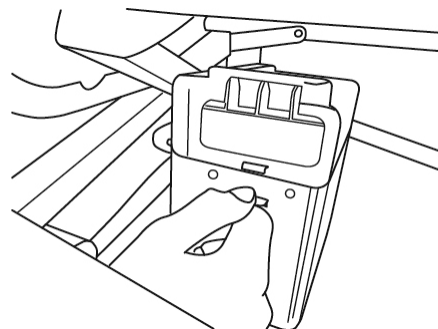


Li Ion22

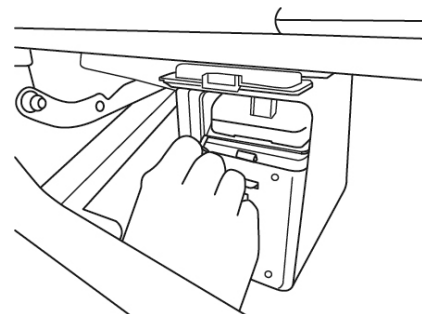


4.7 バッテリーの取り付け方法

1. 制御ボックスのレバーを押し下げ、フタをあけます。



2. ストラップを持ったまま、バッテリーを挿入し、フタを閉めます。



3. 電源が入るか確認します。

(5.2 電源を入れるを参照)

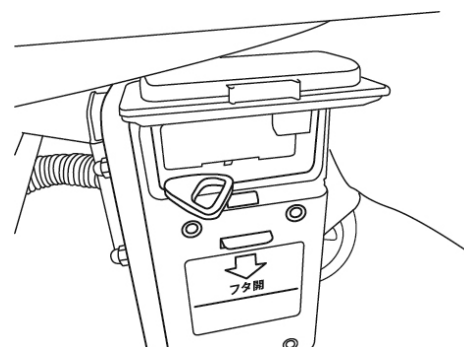
注 記

- ストラップがフタからはみ出していないことを確認してください。
- フタが開いた状態では、電源が入りません。
- 使用時にフタが開いた場合、電源が切れます。
- バッテリーが取り出しにくい場合はフレームを折りたたんでから取り出してください。

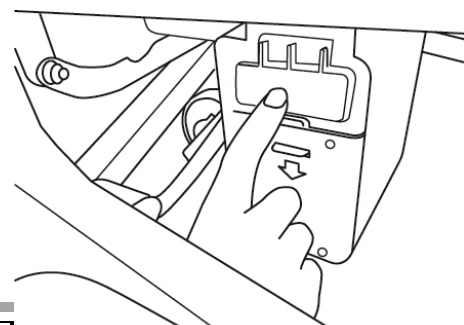
(4.2 歩行車を折りたたむ参照)

4.8 バッテリーの取り外し方法

1. 制御ボックスのレバーを押し下げ、フタをあけます。



2. ストラップを引っ張り、バッテリーを引き出し、フタを閉めます。



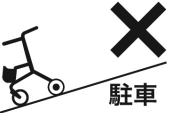
歩行車を広げる	歩行車を折りたたむ	手押しハンドルの高さ調整	ブレーキワイヤー調整	ステッキボウルの取り付け方向変更	バッテリーを充電する
---------	-----------	--------------	------------	------------------	------------

バッテリーの取り付け方法	バッテリーの取り外し方法
--------------	--------------

5. 歩行車の使い方

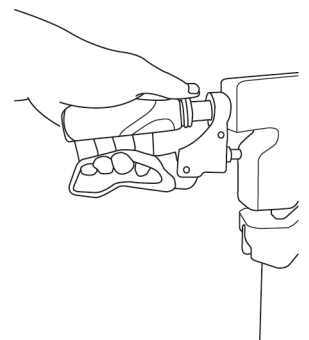
5.1 ブレーキを使う

歩行車の制動と、シートの乗り降り時などの駐车用ブレーキとして使います。

 警告	
 強制	適切なブレーキ力に調整してご使用ください。 制動ブレーキをかけることが出来ず、事故につながるおそれがあります。 
 注意	
 禁止	必ずブレーキがロックされていることを確認してから立ち上がって下さい。 不意に車体が動き、転倒するおそれがあります。 
	坂道や不安定な個所で駐車しないでください。 転倒のおそれがあり大変危険です。絶対にしないでください。 
	ブレーキレバーの回転軸付近に指を近づけないでください。 指をはさむおそれがあります。 

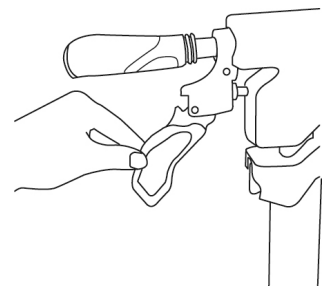
制動ブレーキ

ブレーキレバーを引き上げると制動ブレーキがききます。
指を離すとレバーは元に戻ります。



駐车用ブレーキ

手で下に押し下げると駐车用ブレーキがかかり主輪が固定されます。
ブレーキをかけたとき左右の後輪がしっかりと止まっていれば正常です。
ブレーキを解除する場合はブレーキレバーを軽く押し上げてください。



5.2 電源の入れ方

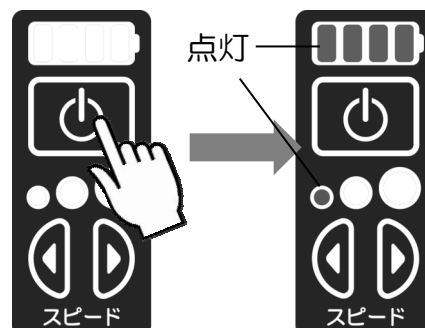
注 記

歩行車を広げた状態にし、停止状態かつ平坦な場所で行ってください。

1. 操作パネルの電源ボタンを押します。

注 記

車体を折りたたんでいる状態では電源が入りません。また傾斜地など車体が傾いている場合も電源が入りません。

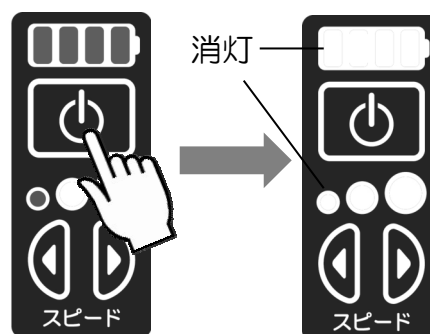


5.3 電源の切り方

1. 操作パネルの電源ボタンをランプが消灯するまで長押しします。

注 記

- 使用後は必ず電源をお切りください。
30 分間操作が無い場合は自動で電源が切れます。
- 電源が切れている状態でも約 4.5km/h 以上の速度で本機を押すと抵抗がかかりますが、故障ではありません。



5. 歩行車の使い方

5.4 スピードの変更方法

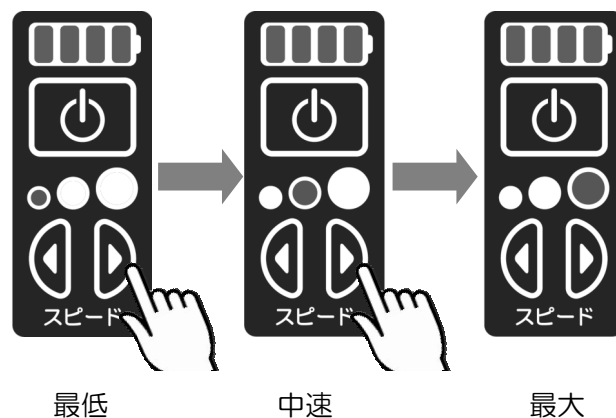
歩行速度に合わせて最大スピードを切り替えることが可能です。

⚠ 注意		
 禁止	スピードの変更操作は歩行車を停止し、安定した状態で行ってください。 バランスを崩し、転倒するおそれがあります。	

歩くスピードを速くしたい時
右方向の矢印ボタンを押します。

注 記

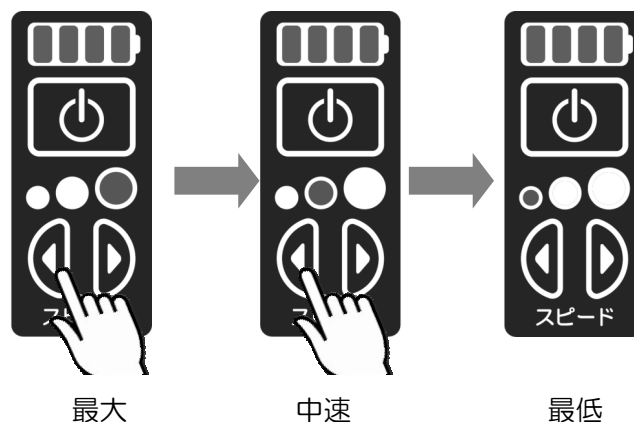
最大速度設定時に更に右方向の矢印ボタンを押すと警告音がなります。



歩くスピードを抑えたい時
左方向の矢印ボタンを押します。

注 記

最低速度設定時に更に左方向の矢印ボタンを押すと警告音がなります。



5.5 歩行の方法

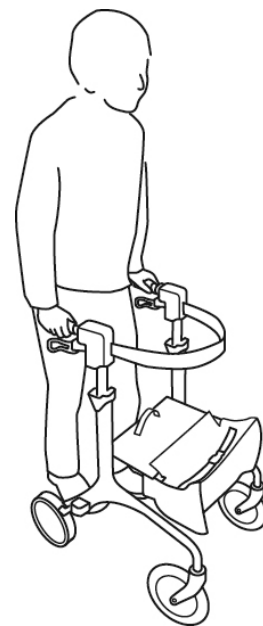
左右の手押しハンドルを握って操作することでアシスト/自動ブレーキが作動します。

 警告	
 禁止	片輪が石に乗り上げるなど不安定な状態になる操作はおやめください。 バランスを崩し転倒につながるおそれがあります。 
	前方からの操作等、無理な姿勢での操作はおやめください。 バランスを崩し転倒につながるおそれがあります。 
	ペットのリードを持った状態や車体に引掛けて使用しないでください。 不意に引っ張られ転倒するおそれがあります。 
 注意	
 禁止	歩行中、急旋回しないでください。 車輪に足が轆かれたり、バランスを崩して転倒するおそれがあります。 

1. 左右の手押しハンドルを握って前方に押すように歩行します。

注 記

- まっすぐ前を見ながら、歩行車と適切な距離で歩行しましょう。
- グリップから手を離れた状態で3秒以上経過するとブレーキがかかります。ハンドルグリップを握って前方に押せば解除できます。



5. 歩行車の使い方

5.6 セパレートブレーキについて

セパレートブレーキは使用者と歩行車との距離が一定以上開いた場合に、自動でブレーキがかかる安全補助機能です。

⚠ 注意



禁止

次のような使用状態ではセパレートブレーキが正常に働きませんのでご注意ください。

- グリップに荷物をかけている等、セパレートブレーキセンサと使用者の間に他の障害物がある場合
- ゆとりのある服やジャケットなどボタンをあけて着用されている場合や、ネクタイ、マフラーが垂れ下がっている場合
- スパンコールなど光を反射する素材の服を着用して使用した場合
- セパレートブレーキセンサ表面に水滴や汚れが付着している場合
⇒汚れをふきとって下さい。
- セパレートブレーキセンサ表面に傷がついている場合
⇒使用を中止し、販売店までご相談下さい。
- 太陽光や強い反射光が直接センサに届いている場合
- 旋回時
- セパレートブレーキセンサとの距離が近すぎる場合
- 悪天候の場合（雨、雪、濃霧など）

※セパレートブレーキは自動でブレーキがかかる機能ですので特別な操作は不要です。



5.7 バッテリー残量の確認方法

初期バッテリーは満充電状態の時、連続使用で5時間程の容量があります。

警告



強制

バッテリー残量が十分な状態で使用してください。
残りわずかな状態で歩行を続けると急に電源が切れ、作動しなくなります。



充電

- 操作パネルの赤色ランプでバッテリーの残量が確認出来ます。

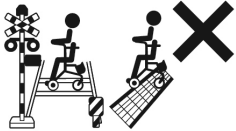
ランプの光りかた	説明
	バッテリー残量が十分な状態です。
	バッテリー残量が多い状態です。
	バッテリー残量の中くらいの状態です。
	バッテリー残量が少ない状態です。 安定した場所まで移動し、電源を切ってください。
	バッテリー残量が残りわずかな状態です。 すぐに制動ブレーキをかけて歩行を停止し、電源を切ってください。

点滅

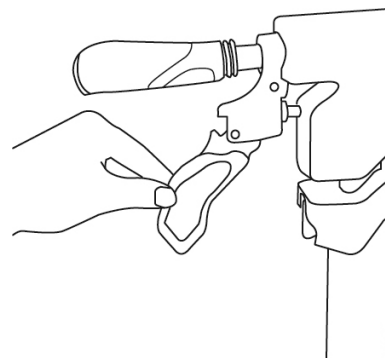
5. 歩行車の使い方

5.8 着座の方法

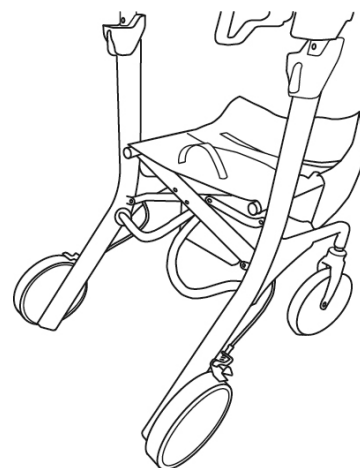
疲れた時は腰を掛けて休息を取ることが出来ます。

 警告	
 禁止	着座する場合、不安定な場所で着座しないでください。 大事故につながるおそれがあります。 

1. 駐車ブレーキを掛けます。
(5.1 ブレーキを使う参照)



2. シートにゆっくり腰かけます。



5.9 買い物カゴの乗せ方

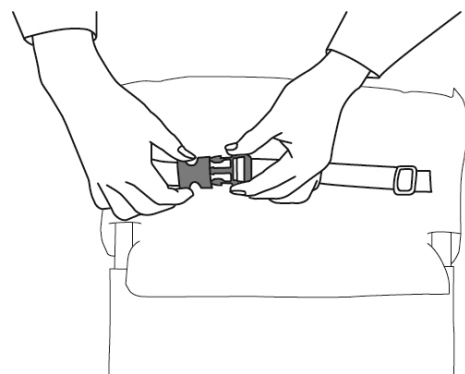
買い物カゴを搭載する事が出来ます。

1. バッグ内側のベルトのバックルをカチッと音がするまで固定します。



注 記

- カバン等の荷物をバッグに入れる際はバックルを外してお使いください。



6.点検・整備する

6.1 日常点検リスト

歩行車を使用する前に各部の安全確認を行ってください。
付属の工具を使用する場合、薄手の手袋を装着してください。

点検項目	点検内容
手押しハンドルの高さ	・手押しハンドル高さ調節ボタンはしっかりと固定されていますか？ ・手押しハンドルの高さは左右同じですか？
シート	・やぶれはありませんか？ ・折りたたみフレームにしっかりと固定されていますか？
前輪及び後輪	・しっかりと固定されていますか？ ・スムーズに回転しますか？ ・タイヤはすりへっていませんか？
操作パネル	・電源のランプは点灯していますか？ ・電源を点けたとき電子音が鳴りますか？ ・スピードが自分に合った設定になっていますか？
バッテリー	・端子は汚れていませんか？ ・バッテリーの残量は充分ですか？
バッグ	・やぶれはありませんか？ ・折りたたみフレームにしっかりと固定されていますか？
フレーム	・フレームの溶接外れはありませんか？ ・折りたたみは容易に行えますか？ ・セパレートブレーキセンサに汚れはありませんか？
ブレーキ	・ブレーキが正しく作動しますか？ ・制動ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？ ・駐车用ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？
全体的に	・ガタつきはありませんか？ ・まっすぐに走りますか？ ・ワイヤーが部品等に引っかかっていますか？ ・バリやひび割れはありませんか？ ・ネジ、ノブ類の緩みはありませんか？ ・ホコリや泥などで汚れたままになっていませんか？

6.点検・整備する

6.2 定期点検リスト

長期間使用を続けると劣化が生じます。数か月おきの定期点検をおすすめします。
安全に使用して頂くためにご自身または取扱店で定期的に点検をして頂きますようお願いいたします。

長期間使用されなかった場合もリスト内の点検をしてください。

点検後、必要に応じて部品交換または各部調整をしてからご利用ください。

点検項目	点検内容	点検者	点検者	点検者
		年月日	年月日	年月日
装着品の確認	バッグは正しく装着されていますか			
	ステッキボウルは正しく装着されていますか			
車輪	緩み、損傷、摩耗はありませんか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	異物が刺さっていませんか			
前輪	しっかり固定されていますか			
	前輪はしっかり固定されていますか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	異物が刺さっていませんか			
操作パネル	点灯しないランプはありませんか			
	電源を点けたとき電子音が鳴りますか			
	ボタンは反応しますか			
セパレートブレーキセンサー	セパレートブレーキセンサに汚れや傷はついていませんか			
ブレーキ	車輪はしっかりと止まりますか			
	取付部が緩んでいませんか			
	効きに左右差はありませんか			
	ブレーキワイヤーに切れ、ほつれはありませんか			
ハンドルフレーム	ガタはありませんか			
	ネジは緩んでいませんか			
	キズや亀裂はありませんか			
シート	著しいたるみはありませんか			
全体	各部にガタつきはありませんか			
	ボルト・ナットが緩んでいませんか			
	手押しハンドルは押手ハンドル高さ調節ボタンでしっかり固定できていますか			
	異音はありませんか			
	車輪と前輪は全て地面に接地していますか			
	まっすぐ歩行しますか			
	折りたたみはスムーズに行えますか			
	配線がむき出しになっていませんか			

7.清掃する

⚠ 警告		
 禁止	グリスや油は入れないでください。 十分なブレーキ力が出ずに転倒につながるおそれがあります。	
⚠ 注意		
 禁止	中性洗剤以外を使用しないでください。 中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。	
	シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。 変質・変色・傷みの原因となります。	
 禁止	たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。 傷みの原因となります。	
	高圧洗浄などで水をかけないでください。 電装部に水が入りますと故障の原因になります。	
	石鹼水や、油性のクリーナーを使用しないでください。内部に液体が浸入し、十分なブレーキ力が出ず転倒につながるおそれがあります。	

■ 金属部分（主フレーム）

主フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落として、自動車用のワックスをかけ、乾いた布で拭き取ってください。

■ 樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤を使用ください。

■ クッション、シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。

＜汚れがひどいとき＞

- ・ 汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
- ・ しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取除いてください。
- ・ 洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

7.清掃する

■ 後輪

ボルト・ナットの締結部品を緩めたり、分解・改造したりしないでください。
タイヤや車輪などは水を含ませ強くしぼった布で拭いてください。

■ セパレートブレーキセンサ

汚れを拭き取る際、硬いブラシなどを使用しないでください。傷がつくと正常に動作しなくなるおそれがあります。

8.仕様

8.1 各部の寸法

記載の寸法や状態は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

(単位：mm)

品名・名称	Flatia (KWF-A)
座幅	370
座高	450
シート奥行	200
バックサポート高	250、275、300、325、350
全高	800、825、850、875、900
折りたたみ時	//
全幅	540
折りたたみ時	370
全長	700
折りたたみ時	700
重量 (kg) バッテリー含む	11.4

8.仕様

8.2 各部の仕様

分類	項目	標準仕様・規格
外観仕様 全体仕様	品名・名称	Flatia (KWF-A)
	材質（本体）	アルミ製
	（シート）	ポリエステル製
	前輪	8 インチ
	後輪	8 インチ アシストモーター内臓
	ブレーキ	ループブレーキレバー
	使用者最大重量	100kg（バックなどの積載物含む）
	段差踏破性能	2cm
	回転半径	540mm
アシスト機能 仕様	速度調整	3 段階
	登坂性能	7°
	連続使用距離	7km（使用条件による）
	連続使用時間	5 時間（使用条件による）
	保存温度	-5～50℃
	動作温度	0～40℃
モーター	形式	三相ブラシレス DC モーター
	定格出力	DC 18V 35W×2（70W）
バッテリー	形式	リチウムイオンバッテリー
	定格容量	18V 1730mAh
	重量	約340g
充電器	定格入力	AC 100V
		（50/60Hz）
	重量	約600g
環境仕様	防水性	IPX3 相当※

※防水に配慮した設計となっておりますが、水による故障が無い事を保証する訳ではありません。

8.3 主な材料・材質一覧

各部名称			材質
主フレーム	フレーム	フレーム	アルミ合金
		溶接材料	アルミ合金
各部品	後輪	タイヤ	合成ゴム
		ホイール	ナイロン
	前輪	タイヤ	ポリウレタン
		ホイール	ポリプロピレン
		前輪フォーク	ナイロン
		前輪軸	スチール
	背ベルト	生地	ポリエステル
	シート	生地	ポリエステル
		クッション	ポリウレタン
	手押しハンドル グリップ	グリップ	ポリ塩化ビニル
梱包材	梱包材	外箱	ダンボール
		内袋	ポリエチレン
		テープ	ポリプロピレン

9.保証について

9.1 保証書

本製品の保証書は本書裏表紙に記載されています。
保証期間はご購入日から 1 年間です。

9.2 保証期間終了後

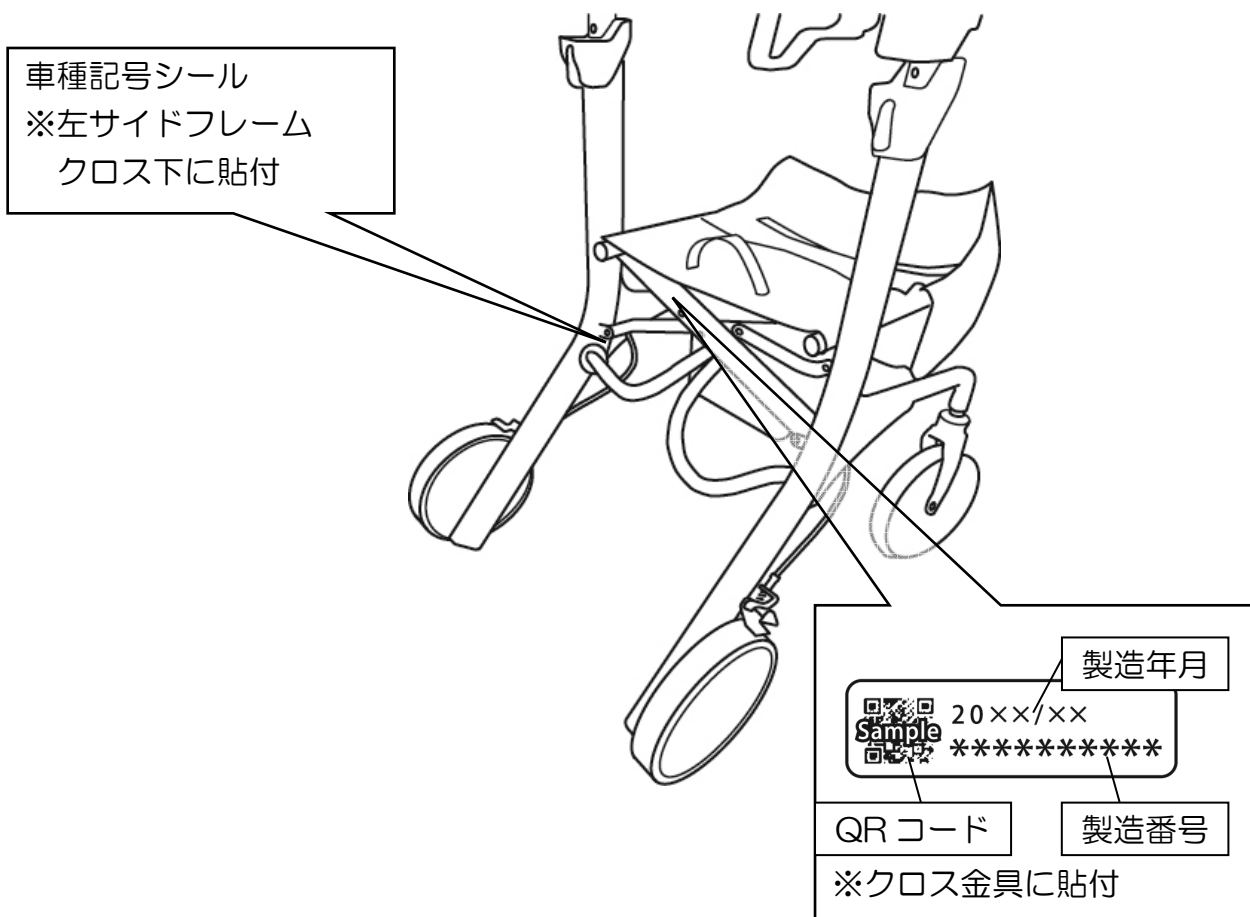
ご購入の販売店にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理をさせていただきます。

9.3 製品記録

アフターサービスなどを的確に受けるため、車種・製造月を記録しておいてください。

車種	KWF-A	
製造月	年	月

■ シール貼付位置



10.保管する

歩行車は、お手入れ後、安全な場所に保管してください。また、保管の際は必ず歩行車を立てた状態で保管してください。横倒しの状態で保管すると車軸やフレームに破損が生じるおそれがあります。

11. 故障かな？と思ったら

歩行車を使用されていて“おかしいな”と思ったら下表をご確認ください。
表以外の異常が発生した場合はそれ以上使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。

歩行車を使用する前に各部の安全確認を行ってください。

症状	確認事項	対応
車輪がロックされたままになっている	歩行車の駐車用ブレーキが作動したままになっていませんか？	歩行車の駐車用ブレーキを解除してください。
ブレーキの効きが悪い	ブレーキ力の調整が弱くなっていませんか？	ブレーキ力の調整を確認し、調整を行ってください
異音がする	車輪の軸に何か挟まっていますか？	挟まっているものを取り除いてください。
タイヤが大きく振れる	ボルト・ナットが緩んでいませんか？	ボルト・ナットの締結を確認してください。
勝手に電源が切れる	バッテリーの取付部の蓋が開いていませんか？	蓋を閉めてから電源を点けて下さい。
1 分間エラー音が再生された後、電源が切れる	バッテリーの残量が不足していませんか？	バッテリーを充電してください。
充電できない	バッテリーが寿命になっていませんか？	バッテリーを新品に交換してください。
電源が点かない	フレームを折りたたんだ状態で電源を点けていませんか？	フレームを開いた状態で電源を点けて下さい。
	制御ボックスのフタが開いた状態になっていませんか？	制御ボックスのフタを閉じてください。
操作パネルのLED が点滅している	電源を再起動しても点滅し続けていますか？	お買い上げの販売店にご相談ください。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

12.連絡先

■ 本社	〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■ 東京サービスセンター	〒110-0013 東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■ 名古屋サービスセンター	〒487-0027 愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■ 本店サービスセンター	〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■ 福岡サービスセンター	〒819-0055 福岡県福岡市西区生の松原 1 -18-3	TEL092-882-4722

注 記

- 修理・お手入れ・お取扱いなど、本書を読んでもわからないときは、製品の使用を中止し、お買い上げいただいた販売店へお問い合わせください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、製品名・品番をご確認の上、上記連絡先へご相談ください。
- 本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に一部予告なく変更することがあります。

保証規定

弊社の定める保証とは、保証期間内に正常な使用状態において故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、お買い上げ日より 1 年以内に故障した場合は無償修理または交換いたします。（下記記載の消耗部品は含みません。）
 2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、お買い上げ頂いた販売店へご連絡ください。
 3. 無償保証期間内でも次の場合には保証適用除外となります。
 - イ) ご使用による消耗および取扱不注意による破損
例：タイヤの摩耗およびパンク、ワイヤー、シートの破損等
 - ロ) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
 - ハ) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
 - ニ) 保全上の不備および弊社以外で行った修理や改造等による破損
 - ホ) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
 - ヘ) 一般に歩行車が歩行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
 - ト) 製品本来の使用目的にそぐわない使用による故障および破損
 - チ) 日本国外でご使用の場合
 - リ) 保証書の提示がない場合
- 消耗部品
- | | | |
|----------|------|-------|
| ・前輪 | ・シート | ・ワイヤー |
| ・バッテリー | ・バッグ | ・背ベルト |
| ・ステッキホルダ | ・タイヤ | ・グリップ |
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
 5. 補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
 6. 保証書にご記入頂いた個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検の為に記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

保証書

製品名 Flatia（フラティア）

品番 KVF-A

お客様名

ご住所 〒

TEL () -

販売店名

住所 〒

TEL () -

お買い上げ日 年 月 日

（保証期間上記より 1 年間）

製造販売元 株式会社カワムラサイクル

〒651-2411 兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1 TEL078-969-2800

一度使用された製品は、原則としてお取替えできません。

お問い合わせは、お買い上げいただいた販売店へお申し付けください。

KWF-A

2020 年 8 月版